

プライマリ・ケアにおけるメンタルヘルスの問題への対応

梶川 奈月先生

(筑波大学地域総合診療医学 助教、北茨城市民病院附属家庭医療センター 医師)

令和5年2月13日(月) 18:30~20:30

ウェブセミナー

筑波大学の学生・教職員の皆様はオンサイト出席可能です

(筑波大学イノベーション棟8階)

プライマリ・ケア医は、精神疾患および精神疾患の診断には至らない抑うつ気分・不安・ストレスなどの、メンタルヘルスの問題に関わる役割を担う必要がある。プライマリ・ケア医はメンタルヘルスの問題に関して最初の相談先となりうるだけでなく、身体症状を主訴に受診した者においてメンタルヘルスの問題が背景にあることを診断することや、軽症例の診療を行うこと、重症例や難治例を適切に専門医療機関につなげることが求められる。今回は、プライマリ・ケアにおけるメンタルヘルスの問題の現状、対応、実践する上での障壁に着目し、今後更なる充実を目指すための展望を述べる。

今回の勉強会では、北茨城市民病院附属家庭医療センターの梶川奈月先生に「プライマリ・ケアにおけるメンタルヘルスの問題への対応」の演題で、お話していただく予定です。ウェブセミナー受講希望の方は、2月6日(月)までに下記QRコード・URLからお申し込み下さい。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部とアール医療専門職大学、茨城県理学療法士会の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 認定医1単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

また人間総合科学学術院専門基盤科目とフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4(プライマリ・ケア)の一部となっています。

【申し込みフォーム】

<https://forms.gle/jTHrXdjBH2HfaWRh7>

申し込みは
こちらから



保健・医療・福祉に関する勉強会 事務局
柳 久子